

思い出の写真『明石海峡大橋』

世界最長の吊橋である明石海峡大橋の供用が開始されたのは、1998年（平成10年）4月5日のことでした。

供用開始に先立って、さまざまなイベントが計画されました。

開通式が行われたのは3月21日のことでしたが、当日とその翌日には「ブリッジウォーク」という催しが盛大に行われ、35万人の応募者の中から抽選で選ばれた約8万人が参加しました。

また、約2万人が参加した「1/2マラソン」、259組が参加した「駅伝爆笑たすきリレー」、42台が参加した「だんじりパレード」などが賑やかに開催されました。

そして、明石海峡大橋の建設に携わった関係者とその家族を主たる対象として開催されたイベントもありました。それは、開通記念イベントの先陣を切って、3月14日に開催された「歩行見学会」です。神戸市の垂水側から当社が施行した中央径間補剛桁の部分まで行って折り返すという約4kmの“歩行見学”でした。

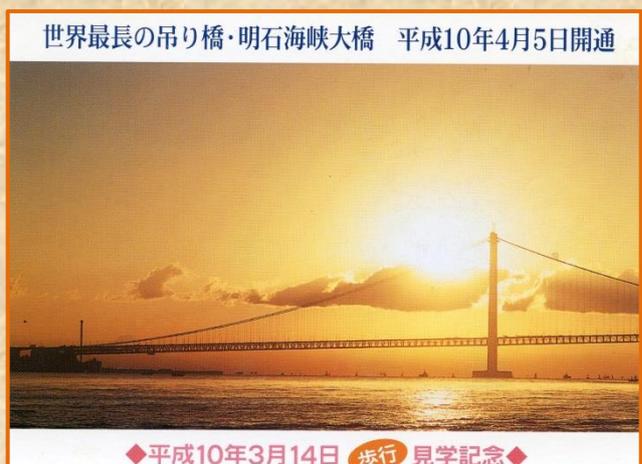
初めは、大人1,000円、子供500円の参加料で計画されていましたが、最終的には工事関係者と家族は無料でよいということになりました。私は、タダとなったので家族全員（4人）で参加しましたが、下の写真はそのときのものです。

橋の上を多くの人々が行き交い、その中に我が家同様に家族で参加した知り合いを何人か見かけました。

家族で参加できるイベントは、よい思い出となりました。



約2kmの道のりを歩いたところで記念撮影。
若かりし頃の妻と幼かった2人の息子たち。



『歩行見学会』の記念にもらったカード